

おおがわら

議会だより



第176号

令和7年8月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



もっと熱くなれ!

令和7年7月5日

(MTB S-PARK)

新しい議会構成	②③
議案審議	④⑤
町政への提言	⑥
小学生議会傍聴	⑳㉑
委員会活動	㉒
町民の声	㉔

新しい議会構成



議長
丸山 勝利 (5期目)

議員各位のご推挙により、第27代議長に就任いたしました。町民から議会がすぐそこにある、本当に身近な議会と思われる議会を作り上げたい、また、議員一人一人が町民から信頼されることこそが、この大河原町議会が町民から信頼され、町民の負託に答え得る議会になると思います。

町民の意見を真摯に聞き信頼と尊敬される議会、執行部の単なる追従機関ではなく、また対立機関でもない、是々非々の議会を目指したいと考えています。議会へのご理解、ご協力をよろしく願います。



副議長
須藤 慎 (4期目)

大河原町議会を代表する立場である副議長という役職の責任の重さを強く感じています。議長を補佐し、信頼される議会、議会の活性化、更には開かれた議会、これら実現のため議会一丸となって取り組むとともに、その実現のために尽力してまいります。

また、選挙で皆様からいただきました一票の重みを常に胸に刻み、大河原町の更なる発展と、より住みやすい大河原町を目指し働いてまいります。よろしく願います。

総務産業常任委員会
議会広聴常任委員会

改選後5月1日に初議会が開催され、全議員が参集し、議会内選挙、選任において記載の所属委員会などが決まりました。任期の4年間、町民の代表として努めてまいります。



今野 智志 (1期目)
総務産業常任委員会
議会広聴常任委員会

「どうせ言っても変わらない」の改善に、無知の突っ走りに注意しながら取り組みます。



高屋 伸一 (1期目)
文教厚生常任委員会
議会広聴常任委員会

今後4年間、新人議員として、口だけではなく、実践する議員として、挑戦し続けてまいります。



遠藤 勇耶 (2期目)
総務産業常任委員会
議会広聴常任委員会

行動する人が未来をつくる。私はその一人でありたい。みなさんの思いが届く政治を実現します。



佐藤 暁史 (2期目)
議会運営委員会
総務産業常任委員会
議会広聴常任委員会

責任感と実行力で結果を重視。地に足の着いた政策提言で誰もが住みやすいまちに。



中村 淳 (2期目)
文教厚生常任委員会
議会広聴常任委員会

気配り、目配り、心配りのできる議員として皆様の声を町政に届ける「町の御用聞き」として研鑽を重ねて参ります。



佐久間克明 (4期目)
議会運営委員会
総務産業常任委員会
議会広聴常任委員会

町民皆様がちゃんと安心安全を「実感」できることを大切に取ります。



大沼 忠弘 (4期目)
総務産業常任委員会
議会広聴常任委員会

まち全体のブランド化に取り組むことで、幸せな大河原町創生を目指してまいります。



高橋 芳男 (4期目)
文教厚生常任委員会
議会広聴常任委員会

「高橋よしお」は県会議員、国会議員とネットワークを活かし、町民の皆様の為に、大きな力となつていきます。



岡崎 隆 (5期目)
議会運営委員会
文教厚生常任委員会
議会広聴常任委員会

行政の監視役として集大成のこの4年間、町民のために摩擦を恐れることなく初心を貫くことをお誓い申し上げます。



山崎 剛 (6期目)
議会運営委員会
◎文教厚生常任委員会
議会広聴常任委員会

人にやさしく、心豊かに公正、誠実にむき合う。



万波 孝子 (10期目)
議会運営委員会
文教厚生常任委員会
◎議会広聴常任委員会

町民の心に寄り添い、要求実現にみなさんと力を合わせて頑張ります。いつでも声をかけて下さい。



秋山 昇 (10期目)
議会運営委員会
総務産業常任委員会
議会広聴常任委員会

あなたの声を町政に反映し、よりよい子どもを育み、安心な老後も過ごせる町造りの実現に取り組めます。



佐藤 巖 (11期目)
◎文教厚生常任委員会
議会広聴常任委員会

人生百年時代の進展、高齢者目線で感じる政策を行政に伝えるつなぎ役として働きます。皆様の声をぜひお聞かせください。

委員会所管事項

▶議会運営委員会

議会運営、議会の規則・条例等に関する事項。議長の諮問に関する事項。

▶総務産業常任委員会

総務課、政策企画課、スポーツまちづくり推進課、税務課、会計課、農政課、商工観光課、地域整備課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会に関する事項。

▶文教厚生常任委員会

町民生活課、福祉課、健康推進課、子ども家庭課、出張所、教育委員会に関する事項。

▶議会広報常任委員会

議会だよりの企画・編集・発行。その他情報発信、議会広報活動全般。

▶議会広聴常任委員会

議会報告会に関する事項。その他町民との意見交換、情報交換。

一部事務組合等選出議員

仙南地域広域行政事務組合議会議員

丸山 勝利 岡崎 隆

みやぎ県南中核病院企業団議会議員

丸山 勝利 佐藤 巖 秋山 昇

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員

遠藤 勇耶

議会選出監査委員

佐久間克明

◎委員長
◎副委員長



今年も「おおがわらRiversideスポーツフェスタ」が開催されます。



今年はどんな体験ができるのか、町民のワクワクが膨らみます。



南小学校1号校舎の外壁・屋上の防水ほか
改修工事がはじまります。



先生、バスケがしたいです。
総合体育館で移動式バスケットゴールを購入。

物価高騰支援

可決

6月
会議

報告2件

議案4件

追加議案
7件

今回の議案では、大河原町歯と口腔の健康づくり推進条例の制定、一般会計補正予算で物価高騰支援として障がい福祉事業所、介護事業所、医療機関等へ支援給付金の支給などが可決された。また水道事業会計、下水道事業会計において補正予算が可決された。

一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ2億1986万2千円を追加し、歳入歳出の総額123億4773万6千円とした。

●おおがわらRiversideスポーツフェスタ運営委託料 200万円

●定額減税不足額給付金 8000万円

本来給付すべき所要額と当初調整給付額との間で差額が生じた者、給付要件を確認して給付する必要がある者に対し不足額を給付する。対象者見込みは3000人。

●物価高騰対策障がい福祉事業所支援給付金 60万円
光熱費等の負担軽減のため1事業所(法人)につき10万円を支給。

●物価高騰対策介護事業所支援給付金 210万円
光熱費等の負担軽減のため1事業所(法人)につき10万円を支給。

●物価高騰対策医療機関支援給付金 1640万円
光熱費等の負担軽減のため内科・歯科50万円、調剤薬局10万円を支給。

●上谷2号樋門改修工事 9000万円
令和6年度に応急復旧工事を行っていたが、県との協議が完了し本復旧工事を行う。

●堤北岸地区排水路改修工事 500万円
ほ場整備事業の実施に先立ち、大雨時に冠水する箇所の排水路の機能強化改修。

議案

●大河原町歯と口腔の健康づくり推進条例の制定
町民の生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに関する条例が制定された。

●物品購入契約の締結
●大河原町総合体育館バスケットゴールの購入

工事請負契約の締結

- 町営上谷住宅B-2棟外壁断熱等改修工事
- 賑わい交流拠点施設整備給水管布設工事
- 賑わい交流拠点施設整備調整池築造工事
- 同報系防災行政無線施設整備工事
- 大河原町立大河原南小学校1号校舎外壁、屋上防水ほか改修工事
- 令和7年度大河原町立小中学校特別教室等空調設備設置工事

報告

●令和6年度大河原町一般会計繰越明許費繰越計算書の調製

●令和6年度大河原町公共下水道事業会計予算の繰越



上谷樋門応急工事前



上谷樋門応急工事後

5月 会議

5月1日からの新任期スタートに合わせて正副議長、各常任委員会他、議員の役割を決める選挙が行われた。また同意一件、報告3件、議案1件について審議が行われた。

議案

条例の一部改正

大河原町地域経済牽引事業を促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
条例の第2条中「令和7年3月31日」を「令和10年3月31日」に改める。

同意

大河原町監査委員の選任

佐久間克明議員への監査委員の選任について、本人を除く13人の表決の結果、賛成11票、反対1票(白票)、無効票1票で同意。

選挙・選任

議長・副議長選挙

常任委員会の選任

(総務産業常任委員会、文教厚生常任委員会、議会広報常任委員会、議会公聴常任委員会)

議会運営委員会の選任

仙南地域広域行政事務組合議会の議員の選挙

みやぎ県南中核病院企業団議会の議員の選挙(2名)

宮城県後期高齢者医療広域連合議会の議員の選挙

(結果及び関連2・3ページ記載)

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質す^たものです。今回は13人の議員が行いました。

佐藤 暁史P⑦

- ふるさと納税などについて
- 学校周りの安全対策について
- 汲み取りについて

今野 智志P⑧

- 賑わい交流拠点施設について
- 夏まつり花火大会のナイアガラについて

高橋 芳男P⑨

- 中学制服無償支給へ
- いじめ対策への学校外相談窓口の活用を

万波 孝子P⑩

- 賑わい交流拠点施設の整備計画について
- 高齢者にやさしい町づくりについて
- 熱中症対策について

大沼 忠弘P⑪

- ごみ出しマナーについて
- 観光の取り組みについて
- ※ 児童、生徒の学校生活環境について

秋山 昇P⑫

- 生活を守る雨水対策について
- 町の公共施設のトイレの整備、改修について

中村 淳P⑬

- 町内道路事情

高屋 伸一P⑭

- 地域整備・安全対策について
- 選挙啓発活動の推進と投票率の向上について

遠藤 勇耶P⑮

- 災害に備えた「動ける」仕組みづくりについて

山崎 剛P⑯

- 街路樹の落ち葉掃除について

須藤 慎P⑰

- 防災DXについて

佐藤 巖P⑱

- 金融機関と連携した駅周辺のATMコーナーの設置要請を
- 東部集会所の更新の時期はいつか

岡崎 隆P⑲

- 公園整備から始まる減災対応と健康づくり

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。
内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。

桜のオーナー制度を

クラウドファンディングを検討



桜オーナー制度で関係人口の創出を

問 寄附金使途の項目を見直したことはあるか。

町長 改正は行っていない。

問 分かりづらいので選択肢の見直しを。

政策企画課長 重複する表記もある。見直しをかける。

問 使途の「自然環境、地域景観の保全」金額にはいくらか。

町長 令和6年度は1億9235万円。

問 全額が保全に充てられるのか。

町長 単年度で使うわけではない。戦略的に有効活用する。

問 樹木医の育成にも使ってほしい。

町長 人材育成に活用することを検討したい。

問 体験型、参加型の返礼品を取り入れられないか。

町長 新たな校の名所づくりに取り組み、参加型、体験型を検討する。

問 ふるさと納税を関係人口拡大の手段として活用するべきではないか。

町長 重要な手段の一つとして捉え取り組んできた。関係人口の増加に繋がって欲しい。

学校周りの安全対策

問 大小北側の道路は混雑する。安全対策の検討をしたことはあるか。

教育長 児童送迎の車により渋滞が発生。合同点検を実施している。

問 大小の敷地を整地できないか。緑地帯を無くすることは教育環境を守るうえで難しい。

教育長 金ヶ瀬小学校の職員駐車場は街灯が無く暗い。安全対策の検討をするべきではないか。

問 今後、小学校と必要性や優先性について協議する。

教育長 今後、小学校と必要性や優先性について協議する。

問 汲み取りを利用している世帯数は。

町長 令和7年3月末、356世帯。

問 この（汲み取り券の）制度に対して寄せられている町民の声を町はどのように受け止めているか。

町長 販売所の少なさ、手続きの煩雑さの意見がある。利用者の生活に直結する課題で真摯に受け止めている。

問 制度見直しの検討をしたことはあるか。

町長 制度の見直しを検討している。

問 オンライン申し込み、現金払い、キャッシュレス決済、高齢者向け申請代行について改善する考えはあるか。

町長 現状では難しい。汲み取り券方式を改める検討を行っている。

ふるさと納税



佐藤 暁史

一般質問

賑わい交流拠点施設

町民への説明は充分か

議決Ⅱ議員にも説明責任はある



今野 智志

も距離的に親も心配する
と考えるが、バス運
行など具体的な案はあ
るのか。

町長 保安距離の確保
の懸念、観客の
安全や火災予防を考慮
し実施を控える。

夏まつり花火大会の
ナイアガラについて

問 ナイアガラにつ
いては今まで大
きな事故は起きていな
い。保安距離も消防に
確認したが今まで同様
ならやれると伺った。
町長の意思次第だと考
えるが。

町長 将来復活させる
ためにも今する
わけにはいかない。

問 町民から復活の
要望の多いナイ
アガラだが50回目の今
年もやらないのか。



町民を置き去りにしてはならない

問 43億の資金を投
入し建設中だが
実際に利用する町民へ
の説明会は2回のみ。
今後説明会は。

町長 参画事業者が決
定したら説明会
の予定。

問 154件のアン
ケート調査で7
割が同意し民意は示さ
れていると言いが、予
算も示されていない時
点のもの。実際には同
意どころか「あそこ何
作ってるの」という声

も多いが。

町長 コロナ禍で説明
機会が無かった。
広報を活用しても思
いはなかなか広がら
ない。また議会で議
決されているという
事は、議員にも説
明責任はある。

町長 作って終わりだ
とは考えていない。
モデルプランもト
ータルで賑わいを作
るために町に沿うも
のだと考える。

問 利用する町民や
関連団体の意見
を聞くプロジェクト
チームや専門委員
会を設けるべきで
はないか。

町長 今のところ考
える民間の持つ発
想力、経験などを
信じる。

問 駅から施設ま
での距離は約3
km。交通手段の
想定は。

町長 車・自転車
を想定。年配、車
のない方、小学生
など

問 年配、車のない
方、小学生など

方針を固めた。母子
家庭など経済的に
苦しい環境に置か
れる方達のため、
我が町で公立中
学校の制服の無償
化を推進、検討し
ていくべきだと思
うが、どうか。

町長 現在、入学
準備支援金や新入
学児童生徒学用品
費の支給、学校給
食費の無償化を行
っており、制服の
無償化と同等以上
の支援は行ってい
る。

いじめ対策 学校外相談窓口

問 文科科学省が
発表した「令和5
年度児童生徒の問
題行動・不登校等
生徒指導上の諸
課題に関する調査
結果の概要」によ
れば、小・中・高
等学校及び特別
支援学校における
いじめの認知件数
は73万2568件
(前年度68万1
948件)であり、
前年度から5万
620件(7.4%)
増加。児童生徒
1000人あたりの
認知件数は57.9
件(前年度53.3
件)。認知件数は
新型コロナウイルス
感染症の影響で
令和2年度に比べ
減少したが、その
後3年連続増加し
、過去最多となっ
た。また、いじめ
の重大事態の発
生件数は1306
件であり、前年
度から387件(42
.1%)増

加し、過去最多とな
った。東京都港区
では、学校外の施
設との連携として
「ほつとステーション」を活用
する試みを進めて
いる。教員の負担
を軽減し、きめ
細かな対応を
実現するため、
学校外相談窓
口との連携を
検討すべきだ
と思うが、どう
か。

町長 現在、町内各
校においては、
毎月のアンケート
調査等の対応を
行っている。「24
時間SOSダイヤ
ル」や「子ども
の権利110番」
などの周知徹底
を図るとともに、
外部機関との
連携を図る。

中学制服無償支給へ

同等以上の支援はしている



中学制服の無償化を

問 制服は近年、価
格が右肩上がり
で、家計を圧迫し
ている。東京品川
区では、公立中
学校などに進学
する際に必要と
なる制

服に3万円から5
万円ほどの費用
がかかるため、
令和8年度から
区立中学校に進
学するすべての
子どもを対象に
制服を無償で支
給する

子育て支援



高橋 芳男



一般質問

交流拠点施設 賑わい

負の遺産になりはしないか

対策は十分に行えるもの



万波 孝子



どうか。

政策企画課長 各区長や管理人の意見を伺い、進める。

問 避難所指定の総合体育館や学校体育館のエアコン設置を進めるべき。

町長 十分承知している。実現に向けて努力する。

高齢者に優しい町を

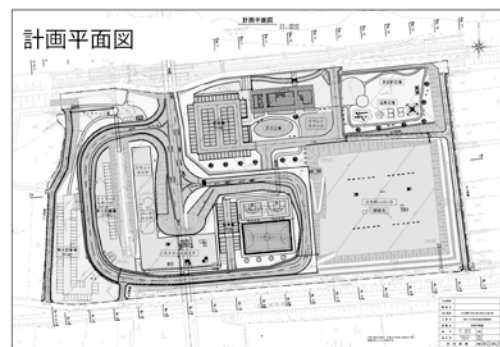
多くの高齢者は住み慣れた地域で安心して暮らしたいと願っている。高齢者福祉の充実が喫緊の課題と言える。

問 デマンドタクシーの運行時間の延長や土・日曜日の運行があると助かる声があるが、どこまで応えられるのか。

町長 民間事業者の経営を過度に圧迫することなく利用しやすいかを優先させる体制は慎重に考えている。

問 物価高騰等を考慮し紙おむつ月額5000円支給を増額できないか。

町長 近隣市町と比較しても本町は手厚い支給をしているので考えていない。



税金のムダ遣いとの声もあるが

体育館にエアコン設置を

問 命に繋がる猛暑で既に死者も出ている。町は指定暑熱避難施設として中央公民館、オーガ等5ヶ所を指定。身近な集会所等も開放できるような行政区に働きかけては

町長 使用料徴収の対象となるものは、レンタルサイクル、多目的ホール、シャワールーム、イベント広場、多目的スポーツ広場、アーバンスポーツ広場。

問 負の遺産になりはしないか懸念するが。

町長 町内初の官民連携手法を導入した公園。集客力や利便性の向上等幅広い年代

問 住民への説明責任は十分果たしていない。モデルプランを使い広聴会や現地に町民を招いての説明会を開くべき。

町長 企画事業者が選定され公園施設の内容等が決定したら再度、説明会を開く予定。

問 施設利用者数はどの位と見込んでいるのか。

町長 年間約3万人、町内40%、町外

4月の町議選で40億もかかる事業に町民から「日中子供、学生は学校、大人は仕事果たしてどれだけの人が利用するのか疑問だ」「残念な計画だ」「夏は猛暑で使えない」「日陰がない」「日中家にいる高齢者が利用するの疑問」等々の声が出された。町と議会だけが先行し、町民の理解が追いついていない現状があると認識している。

条例制定を検討すべきでは

慎重に検討する必要があり難しい



ルール違反で回収されないごみ

ごみ分別などのルールを守らない悪質な違反者を特定するために、違反ごみの袋を開封して違反者を特定し、違反を繰り返す場合には氏名を公表することが

盛り込まれた条例が今年の3月から福島市で施行された。

問 本町でも悪質な違反者に対策を講ずれるよう条例制定を検討すべきでは。

町長 悪質なごみ出しルール違反抑止策として、条例制定の重要性は認識しているが、慎重に検討する必要があると考えている。

問 ルール違反、不法投棄等による相談や報告件数はどういう状況か。

町長 苦情や相談が多く寄せられており、軽微なごみに関するものが一日あたり数件寄せられている。

問 ルール違反ごみが有った場合は委託業者で違反のシールを張る手間が増え業務効率も下がってしまう。件数を示せるか。

観光取り組み

問 観光物産協会(以下、観物)は現在公民館の休館日と祝日が休みとなっていることに違和感はないか。

町長 職員の労働環境が観点からも対応が難しいものと受け止めている。

問 観物の場所をオーガ内や駅近辺に移設検討する考えは。

町長 現在「にぎわい交流施設」内にあり、賃料を設定してないことが運営持続に繋がっていると考えている。駅前の物件を利用する場合賃料が負担となるが考えられ、移転は難しいと受け止めている。

問 桜まつりでオーガツーリズムに該当するような事業は生じていないか。

町長 会場に向かう車の往来により、住民等の日常の移動に支障がある道路、交差点があると認識。

ごみ出し マナー



大沼 忠弘



一般質問



秋山 昇



富田・丑越の予定は

雨水対策

3号調整池完成後行う

本町の雨水排水事業は、各地区に於いて様々な状況にあると考える。かつて問題であった5号排水路は既に事業は終了。現在進行中の鷺沼3号雨水調整池の状況及び今後について伺う。

町長 既に用地を取得している地区は金ヶ瀬富田・丑越地区及び上川原を含む地域。鷺沼3号調整池完了後の事業を予定している。現地は、昭和36年頃の側溝構造であり、非常に狭く、勾配も曖昧だったりする。未だに当時のままの側溝が残っており、ちよつとしたまとまった雨で道路冠水に至る。早急な対応を望む。

町長 この事業は、令和8年度より着手する予定となつている。

トイレの設置等、整備を願う。

町長 公園内へのトイレの新設設置には、利便性向上且つ安心な整備設備を提供できる様に慎重に検討する必要がある。

問 現在行われている鷺沼3号調整池等の雨水整備事業完成後、次の予定について伺う。

町長 上谷地区、見城前地区の公園及び児童遊園の多くは、子ども達だけではなく、地元高齢者の憩いの場としてもおいに利用されている。6力所全にとは言わないが、

問 公共施設トイレ整備を

問 今あるトイレは場所によって照明も無く暗くて足下が不安なものもある。日が暮れるのが早い冬場などは深刻な状態であるが改修するつもりは

昨今のニュースで語られる危険運転等に起因する通学路等での事故に対する備えや、町内あちこちに散在する不具合及び、激化する自然現象を踏まえたそれらに関わる安全対策、管理体制について伺う。

問 通学路に関する危険。地下道入り口の矛盾する標識。指定方向外進行禁止の標識の設置場所が悪く、本来の意味を誤認しやすい。撤去するべきだと思ふが如何か。

町長 撤去後道路と並行に設置し、現在の位置には、車両進入禁止を移設する。

問 広表の入り口の横断歩道を渡る



金ヶ瀬富田地区



丑越地区

あるか伺う。
町長 経年劣化によりそのような場所が存在すると認識している。施設の維持管理的な対応は必須であると考え。

桜樹腐朽測定困難では

専門業者委託で安全を



こんな大きな枝が折れた

問 通学路等安全対策推進会議」の点検箇所に盛り込み検討する。

町長 危険を感じる町道。薬師堂前で歩道が無くなる。反対側の歩道に渡るには、4号線の交差点の横断歩道しかない。せめて直前の交差点に横断歩道を設置できないか。

町長 警察署見解では、見通しが悪い緩やかなカーブなので設置は難しい。

⑬ 大河原町議会だより

道路安全事情



中村 淳



問 設置が困難なのであれば、「この先歩道が無くなります。」等の注意喚起表示板の設置でもよいと考える。

町長 年間を通じ随時、樹木医による目視巡回。強風時には、職員による巡回も行う。安全対策の基準は設けていないが、毎年樹木医の剪定の仕様書に基づき剪定を実施。但し、太い幹や枝、高所の幹や枝については、樹木医が内部の腐朽具合を判断しかねる。本年度より腐朽測定を業者に委託する。

大河原町議会だより ⑫

一般質問

地域整備

安全対策は万全か

定期点検・情報収集を徹底する



高屋 伸一



問 いち歩行者の安全確保を目的とした道路照明灯の管理方法と増設計画はどうか。

町長 街路灯の管理方法については、リース契約の中に保守管理費用が含まれており、異常発生時にはリース契約で修繕している。

問 通学路の児童生徒の安全確保のための点検の頻度と危険箇所報告（ブロック

塀倒壊等）の関係機関との連携・情報共有は万全か。

町長 通学路の安全点検については通学路等安全対策推進会議において実施しており、各学校や民生児童委員等からの点検報告を基に問題箇所を抽出し、年1回の合同点検、対策の検討を行っている。

問 有権者である高齢者・障がい者の投票所への移動手段の確保の更なる充実を。

選挙管理委員長 現在大河原町では12カ所投票所を設置しているが、可住面積当たりの設置数は、近隣市町村や類似団体と比較しても不足している状態ではない。選挙管理委員会と

しては高齢者や障がい者の方にはご家族やお知り合いのご協力の下で投票所にお越しいただくように呼び掛けており、新たに移動手段を確保する予定はない。

問 未成年者への社会参加意識の向上や投票を促す取り組みを拡充すべきと考えらるがどうか。

選挙管理委員長 大河原町では選挙管理委員会及びびるい選挙推進

協会において町内の各小中学校で「選挙出前講座」を毎年開催している。小学6年生、中学3年生を対象に選挙に関わる講話や実際に選挙で使う投票箱や投票記載台などの物品を用いて模擬投票も実施している。大河原産業高校では宮城県による出前講座が実施されている。



南原前 街路灯 通学路、灯かりの無い路地

動ける体制になっているのか

徹底的に議論し、改善を図る



みやぎ防災アプリをダウンロードしましょう

町長 すでに「県の防災アプリ」から災害情報取得、配信

問 災害時に確実に届く仕組みとして、町独自のアプリによる情報発信体制を整備する考えはあるか。

近年、地震や豪雨などの自然災害が頻発する時代となり、本町でも、今後の災害に備えて、これまで以上に「実際に動く体制」を整える必要がある。災害時に本当に町民一人ひとりの命が守られるか。そのために今一度、町の防災体制を現場目線で点検したいと考え、質問する。

問 30%の登録では、確実に届く仕組みとは言えないが、これまでに独自アプリも検討は行ったか。

総務課長 詳細な検討行っていない。

問 防災士の育成支援体制は整っているが、役割や配置が不明確で、「活躍の場がない」と聞か、今後の明確化が課題では。

町長 防災士の力が十分に発揮できていない認識している。今後、自主防災組織の要望なども確認しながらマッチングを進める。

出来るため、県と連携し「県の防災アプリ」の普及に努める。

問 町民の「県の防災アプリ」登録者数は、

総務課長 6812人（約30%）の登録がある。

問 30%の登録では、確実に届く仕組みとは言えないが、これまでに独自アプリも検討は行ったか。

総務課長 詳細な検討行っていない。

問 防災士の育成支援体制は整っているが、役割や配置が不明確で、「活躍の場がない」と聞か、今後の明確化が課題では。

町長 防災士の力が十分に発揮できていない認識している。今後、自主防災組織の要望なども確認しながらマッチングを進める。

問 要配慮者避難支援体制の実効性は、「誰が助けに行くのか」のマッチング体制を強化する考えはあるか。

町長 避難行動要支援者名簿の作成に努めている。また、近くにお住いの方に、地域支援者（助け合う仲間）として、手をあげていただき、連絡、安否確認、さらには一緒に避難することを支援できるように、誰が行えるようにするかを明確にし、実行できるように進めて参りたい。

問 大河原商業高校が、今も指定避難所になっているが、

副町長 大河原産業高校との話し合いの中で、指定避難所から外して欲しいとの要望があった。防災会議の中で指定避難所を決定してまいりたい。

防災体制



遠藤 勇耶



一般質問

街路樹

街路樹の落ち葉対策は

伐採による間引き等で対応



山崎 剛

植樹されているが公表できるデータが少ないことから公表はできない。

問 落ち葉の清掃をする町民はごみ袋を自己負担している。

これに対して補助することはできないか。

地域整備課長 担当課に落ち葉清掃協力の申し出を頂ければ、ボランティア袋を準備する。

現在は若葉薫るさわやかな季節であるが、秋には大量の落ち葉の掃除に追われ、伸びてきた枝葉の影響で車からの視界を遮られる、歩道が根で盛り上がり歩きにくいとの苦情が多く、町民から寄せられている。特にトウカエデの落ち葉等は高齢化が進む中で20年後、30年後を見据えて植えたのだろつかという意見も寄せられているの

で以下伺う。

問 町道にトウカエデを植樹した経緯は。

町長 昭和62年に街路事業として整備され紅葉や新緑が美しい上に、乾燥や病害虫に強いとされ採用されたものである。

問 町道から国道4号を正面にしたトウカエデ11本が伐採された理由は。

町長 道路整備から30年度の強風時に枝ごと折れ住宅や交差点内に散乱し沿線の住民が片付けの負担もあり、伐採を行った。

問 一目千本桜の桜が散った後に咲く木々を植樹して花期の時期を考慮しながら町の四季に花が咲く計画を作る考えはないか。

町長 新たな植栽については根の撤去が困難なことから植え替えや花の植樹はできない。

問 町として個別の町民への対応ではなく年間スケジュールや剪定の予定等を公表することで、住民との協働の機運を高められないか。

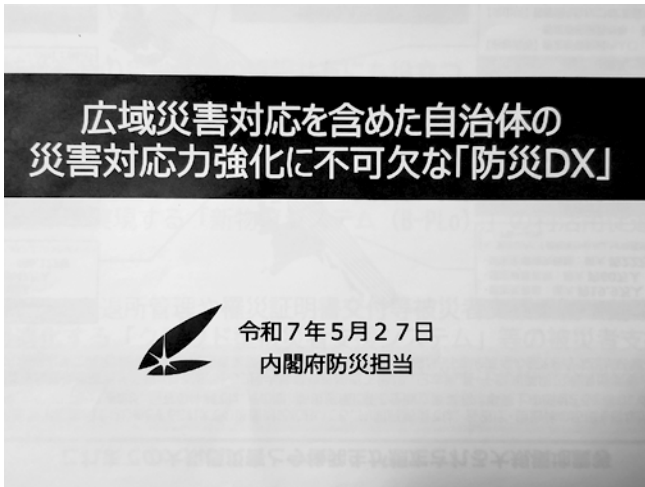
町長 現在、街路樹は8路線に596本。3種類の街路樹が



落葉掃除負担、もう限界

新総合防災システムの準備を

早めに準備する



今後、必ず必要となる「防災DX」

5月27日に東京国際フォーラム（有楽町）で「全国議長・副議長研修会」が行われた。この研修で、内閣府防災担当職員が、「広域

災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な防災DX」という題目で講演があった。この研修の中から抜粋して質問する。

問 「新総合防災情報システム（S O B O W E B）」について、大河原町（以下・本町）のアカウント登録申請状況は。

町長 本町は、登録を行っており、常時閲覧可能な状況となっている。

問 宮城県には、「宮城県総合防災システム（M I D D O R I）」がある。今現在、県と国（内閣府）がシステム連携できていない状況にある。国は、これを連携させたいと考えている。2026年度に「防災庁」が出来る予定となっており、県

もいずれシステム連携すると考えられる。本町としても、早めに準備してほしい。

総務課長 早めに準備させていただく。

問 災害対応力の向上を図る目的として、「アイサット研修」が行われている。本町職員もスキルアップのため受講してはどうか。

町長 積極的に参加していきたい。

問 内閣府主催の日本最大級の防災イベントである「ぼうさいこくたい」が毎年開催されている。職員も参加してはどうか。

町長 今後、開催地等職員も考慮しながら職員参加を検討していく。

問 令和4年度より「クラウド型被災者支援システム」が構築さ

れており、マイナンバーを活用して避難所の入退管理や罹災証明書の電子申請、コンビニ交付などが可能となる。様々な自治体を取り組んでいる事例が紹介された。本町においても取り組み考えはないか。

町長 今後、システムの運用状況や導入費用、周辺自治体の導入状況など情報収集し、導入について調査・研究していく。

問 最後に、町長の防災DXについての考えを伺う。

町長 何が課題なのか明確にし、事前防災につながる対応を進める。

防災DX



須藤 慎



公園

身近な公園の充実を

優先順位をつけて進める



身近な場所から整備を



岡崎 隆

問 天候不順や猛暑等で子供の外遊びの機会が減り、体力低下はもとより様々な弊害が出ることを危惧する声が父兄から寄せられている。部活動も地域移行が軌道に乗っていないにも関わらず2028年から土日の活動ができなくなるこ

町長 白石川右岸整備事業は着々と進められているが、防災機能は備えているか。管理棟に併設し、長期保存可能な食料、飲料水を備蓄し有事の際の一時避難場所として活用する計画である。

問 茨城県境町にある全天候型屋根付きの公園は日差しを一定程度遮るため、真夏日でも水分補給しながら快適に遊べる。また、冬の日の短い時期もLED照明の下、18時まで開放している。町民にもこの話をしたところ大好評であったが、町長の見解を伺う。

町長 そういった要望が生まれる可能性はある。事業化できるものは優先順位をつけて進めることになるため、今後の議論にしたい。

教育長 外遊びは体力やコミュニケーション能力の向上などの効果があるため重要である。現在小学校では仙台大学と連携し、運動する楽しさを感じさせるような指導をしてみらっている。部活動地域移行は地域クラブとして土日も活動できる体制を作りたい。

町長 境町も従来の公園を改修して全天候型の公園にした。全天候型公園には駐車場が必要である。例えば中部2号公園は役場の駐車場、末広公園はいきいきプラザの駐車場、広表1号公園は金ヶ瀬公民館の駐車場が利用できるため改修に適していると言える。身近な公園を改修することについての見解は、

一般質問

銀行ATM

駅前にATMコーナーの充実を

コンビニが役割を果たす



佐藤 巖

問 全国的に地方銀行の統廃合が進み、柴田郡でも自治体からの各支店の撤退が進み、当町でも特に東部地区での金融機関での取り扱いに不便だとの町民の声がある。駅前の仙台銀行のATMも廃止され、ネット銀行等の利用ができない高齢者の多い東部地区ではカード決済には無縁の高齢者は常に現金を持つリスクに晒され

詐欺、強盗の標的にされる危険を分かっているが仕方なく日常を過ごすことを余儀なくされている。10月には駅前の仙南信用金庫も本町に移転する。地方銀行のATMを集約したものを駅前周辺の施設に整備することを行政として要望すべきと考えるが、町長の考えを伺う。

町長 現在キャッシュレス化が進んでおり、現金の流通が少なくなっている。各金融機関はATMにかかるコストが経営を圧迫しているためATMを撤去している状況であることから新たに要望することは難しい。コンビニATMの利用が可能であることから、そちらが役割を果たすものと考えている。

問 長らく議員活動をしてきた中で7年前に東部集会所の建て替えを提言した際の町長答弁は優先順位が高いと前向きであったが、久しく時は流れている。更に幸中島集会所との統合により大きさに配慮した建物にするとの答弁も頂いて

東部集会所の建て替えを急ぐべき

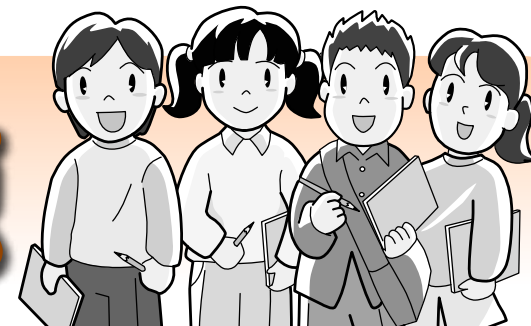


店舗に併設されているATM

町長 集会所は建設から55年経過し老朽化が著しく度重なる地震等で施設機能が低下している。しかし、長年親子会や愛好会、

錦町区ふるさと夏祭り盆踊り大会など地域コミュニティの場として活発に利用していただいている。そのような活発な利用状況から建て替えの優先度は非常に高く、幸中島集会所との統合を念頭に入れ、今年度、関係行政長との協議の場を設け、今後の整備方針について協議検討を進める。

小学6年生 初めての議会傍聴



6月10日、11日の2日間、授業の一環として町内の小学6年生全員が、議場内で一般質問を傍聴しました。町長や各課長と議員の議論に緊張した表情で聞き入り、真剣な様子でメモを取っていました。感想を寄せていただきましたので、一部を紹介します。

議員の人たちが質問などをたくさん出し合ったりしているのを初めて実際に見れて良い経験になりました。議員さんが町民が暮らしやすい街にするためにどのように話し合っているのかが知れました。

金ヶ瀬小学校



今まではニュースなどを見ると、政治に対して悪いイメージを持っていました。しかし今日見た議会からは、そんなことなく、そこまで堅苦しくなく、それでいて、しっかりみんなのことを考えて話し合ってるんだなぁと思いました。また驚いたのが議員さんが直接歩いて調べていることです。

金ヶ瀬小学校

議員の人たちが質問などをたくさん出し合ったりしているのを初めて実際に見れて良い経験になりました。議員さんが町民が暮らしやすい街にするためにどのように話し合っているのかが知れました。

大河原小学校



ちゃんと議会は信頼してもいいんだなぁと思った。正直議会には信頼を受けずにいたけど、今日ちゃんと信頼できるんだなぁと思いました。

大河原小学校

議会を見学して議会の進め方がよくわかりました。こんなに近くで傍聴できると言うことを初めて知りました。他の人の議会も聞いてみたいな—と思いました。

大河原南小学校



質問者は町民の意見を言っていた。こうやって議会をして大河原町をより良くしていってくれてるんだなぁと思った。

大河原南小学校

みんなの疑問 Q&A

- Q** 議員さんが持っている。タブレットは何に使うの。
A 議員さんが持っている。タブレットは議会に関する資料や分からないことなどを調べるのに使っています。
- Q** カメラマンは何のためにいるの。
A 議会だよりを使用する議員の写真を撮影しています。
- Q** 質問する議員さんたちの順番は決まっているのか。
A 質問の順番はあらかじめ決まっています。提出した順番に議員が質問を行います。
- Q** タイマーは何のために使っているの。
A 議員ひとりの質問の持ち時間が30分と決まっています。この30分は、町長などが話す時間は含まれていないので、その間はタイマーは止まっています。議員が話しているときだけ動きます。



町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。

子育て環境の充実 公共交通の拡充に期待

プロフィール

あべ えみ
阿部 絵美さん (西原区)
岩手県釜石市出身
【家族】夫・子ども1人(一女)
3人家族

共働きで子育て に奮闘中

結婚を機に大河原に住むようになりました。仙台に勤めています。職場も子育てに協力的で朝は夫が子供を保育所に送って、帰りは私が遅い時間になることなく迎えに行っています。仙台に行くには便利ですが、車が無いと町内を移動するのも苦労が多いです。バスも通ってはいませんが、役場の前に停留所もなく、保健センターに子どもの検診に行くのもベビーカーを押してなからまだよかったです。自分ですくようになると子どもには遠く、夏だと暑くて大変です。デマンドタクシーもありますが、病院的の帰りなどを考えると予約時間が確定出来ないのになかなか利用に繋が

ていません。

買い物も週末にまとめ買いをするのですが、やはり荷物も多くなるので車があれば良いのですが夫が仕事で車がないと不便を感じることもあります。釜石にいた頃と比べると公共交通の少なさや違いを感じています。

休みの日は子どもを公園に連れていくことが多いですが、子育て支援センターに行っていた頃はとても助かりました。予約が必要ですが名取のショッピングセンターに出来た子供の遊び場も良いです。大河原に有料でもそうした施設があると子育て家庭にとってはありがたいです。

小児医療の拡充

夫婦とも職場が大河原から離れているので、子どもの急な発熱などで保育所から連絡が入っても夫婦とも実家が県外で親に頼ることも出来ず、病児保育等の

環境が整っていると助かると感じることはありません。また町内には大人の医療機関は多いのですが小児科が少ないので拡充されとうれしいです。

子育て環境

今は保育所に通っていますが、これから小学校に上がる時など、児童クラブはありますが、卒園してから入学までの間の子どもの預け場所や、クラブの受け入れ枠に入れるかと言った心配や不安などもあります。また預け

安心・安全なまち

自宅の前の道路は大雨が降ると冠水するので、台風などいざという時にどこへ避難したら良いのかといった分かりやすいインフォメーションが常日頃からあると良いと思います。



行政視察

議会運営委員会が議長、副議長同行で6月23日、24日自治体の事例調査、運動施設の調査など埼玉県三芳町議会、埼玉県久喜市、福島県福島市十六沼公園にて視察研修を行った。

議会運営委員会

埼玉県三芳町議会

視察報告

大河原町議会では議員個人はもとより、「議会力」向上を目指し、議会、議員が町民側に寄り添う形づくり環境づくりに取り組む必要がある。そのために必要な事例が三芳町議会の取り組みの中に多数ありました。

三芳町議会の取り組み（一部抜粋）

- 議会報告会のやり方
- 三芳町議会議員の報酬等の特例
- 議会だよりで写真を募集。読みやすく分かりやすい、イラストや写真を多く文字数は少なくする。



政務活動費

このように使われました

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。

令和6年度政務活動費支出状況

[単位:円]

会派名	議員名	支出総額	収入		返還額
			町からの交付額	内訳 会派負担額	
「がわら」の会	高橋 豊 山崎 剛 丸山 勝利 須藤 慎 佐久間 克明 佐藤 史 遠藤 勇	350,499	390,000	0	39,501
巖 会	秋山 昇 佐藤 巖 岡崎 隆	0	180,000	0	180,000
一心 会	大沼 忠弘	0	60,000	0	60,000
日本共産党	万波 孝子	72,445	60,000	12,445	0
公明 会	高橋 芳男	0	60,000	0	60,000
フォーラム333	大沼 常次	299,927	60,000	239,927	0
新政 会	中村 淳	0	60,000	0	60,000
合 計		722,871	870,000	252,372	399,501

《政務活動費支出の内訳》調査研究費（視察等研修費用）／広報広聴費（新聞等の発行費用）

《調査視察研修の主な内容》

「がわら」の会 兵庫県新温泉町「畜産（但馬牛）振興政策等について」
滋賀県豊郷町「アニメコンテンツを活かしたまちづくりについて」
滋賀県彦根市「四番町スクエア・彦根城現地視察」
京都府京都市「京都御池中学校現地視察」

こんな町に住みたい



大河原南小学校6年
おおよばまさき
大山 将生さん



大河原南小学校6年
わたなべののか
渡邊 希々住さん

ぼくが住んでみたい町は、「地域のみんなが繋がり、笑って暮らしている町」です。その町では、会う人みんなが挨拶をし、気持ちよく生活しています。ぼくが通う大河原南小学校では、地域安全の集いやラジオ体操など、地域の人と交流する機会が多いです。お年寄りの方とのボール遊びや、町内全ての小学校でのレクリエーション大会などがあると、更に良いと思います。このように、地域の人との交流が町全体で行われ、みんなで繋がり、笑顔で助け合える町に住んでみたいです。

私は安心して通学できる町に住みたいです。私は来年から自転車で通学しますが、通学路には街灯が少ないです。そのため、運転手が歩行者や自転車に気付くにくくなったり、不審者が出たりするかもしれません。なので、街灯を増やしてほしいです。あと、地域の人のパトロールがあるときらに安全に登下校できると思います。地域の人のパトロールがあると通学しながらあいさつをします。それが地域の人の関りにつながると思います。

新メンバーによる編集作業

今回より議会広報常任委員会が新しいメンバーになりました。正確な情報に加えてフレッシュな感覚を編集に取り入れながら、町民の皆様に親しみやすくわかりやすい誌面を心がけ、地域に開かれた議会を発信していきます。

全国議会広報コンクールの入賞を目指して頑張っています。今後とも大河原町議会と議会だよりをよろしくお願いします。



編集後記

今年は、去年にも増して酷暑が襲ってきています。体調を崩していませんか。さて、町議会議員改選後、新しい広報常任委員会による初の議会だより如何だったでしょうか。この先、町民の皆様が手にとって興味を持って頂けるような誌面造りをしていこうと委員全員で決意を新たにしました所です。議会改革の一端を担えるような議会だよりにしていきたいと思っています。

今後、定番のコーナーも装いも新たに再構成していきますので、ご期待下さい。

（中村 淳）

編集発行責任者

議長 丸山 勝利

議会広報常任委員

委員長 中村 淳

副委員長 佐藤 史

委員 大沼 忠弘

委員 遠藤 勇

委員 高屋 伸一

委員 今野 智志

今回の表紙は



大河原S・PARKにて行われたMTBプロライダーお二人によるレッススイベントにお邪魔しました。当日は気温35度の中、県内外から参加した皆さんは真剣な眼差しで話を聞いていました。あるのは知ってるけど、行った事はないという町民の方も多かったと思いますが、週末はレンタルもあるので是非を運んでみて下さい。

9月議会の
お知らせ
招集日
9月3日（水）
再開日
9月9日（火）
詳細は議会事務局まで
☎5312800

お詫びと訂正
議会だより第175号の23ページ「こんな町に住みたいな」について、間違いがありましたので訂正しお詫び申し上げます。
【誤】森 英士郎さん
【正】森 瑛士朗さん